

とっとり SDGs 自治体ネットワーク設立趣意書

2015年9月、国連で採択された持続可能な開発のための2030アジェンダにおいて、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) が掲げられ、「誰一人取り残さない」世界の実現に向けた国際社会全体の普遍的な目標が示された。SDGsの理念は、これまで県内自治体に取り組んできた、人口減少や地域経済の縮小といったあらゆる地域課題への挑戦と軌を一にする。また現下の新型コロナウイルス感染症の流行は、経済、社会、環境の深刻なトレードオフを生じさせているが、ポストコロナの地域経済・生活などの大きな変革を見据えて各種施策を進めることが、SDGsの達成につながる。

昨今では、世界的な潮流の中、県内の多くの自治体や企業、団体また個人においてもSDGsへの関心が高まっており、SDGsにつながる主体的な活動も増えつつある。また、自治体には、様々なステークホルダー(利害関係者)が連携する枠組みの構築や、地域における自律的好循環の形成といった取組の下支えが求められており、住民を巻き込んだ大きなムーブメントとするには、官民連携に加えて、県内自治体間のパートナーシップが不可欠である。

このような認識のもと、とっとりSDGs自治体ネットワークを設立し、SDGsへの取組に関する情報共有や連携・協働を進め、SDGsの推進を原動力として持続可能な地域社会の実現につなげていく。

令和3年7月21日